



(別添)

2021年1月28日

NITE (ナイト)

独立行政法人製品評価技術基盤機構

製品安全センター大阪本部

# News Release

**冬の死亡事故に注意！除雪機で19件、一酸化炭素中毒で17件**  
**除雪機の安全装置を正しく使う、発電機は室内で使用しない、**  
**～ 温水機器や暖房器具使用時はこまめに換気する ～**  
**-近畿2府4県における事故の防止-**

## 1. 事故発生状況

NITE (ナイト) に通知された製品事故情報<sup>※1</sup>において、雪・凍結に伴う事故<sup>※2</sup>は、近畿地方2府4県(滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県)では、2010年度から2019年度までの10年間に合計16件ありました。また、一酸化炭素中毒の事故は、合計10件ありました。

(※1) 消費生活用製品安全法に基づき報告された重大製品事故に加え、事故情報収集制度により収集された非重大製品事故やヒヤリハット情報(被害なし)を含める。

(※2) 除雪機などでの事故、積雪の影響や凍結により発生した事故。

### 1-1. 事故発生状況(雪・凍結に伴う事故)

#### (1) 年度別 事故発生状況

表1に「年度別 府県別 事故発生状況」を示します。

表1 年度別 府県別 事故発生状況<sup>※3</sup> (単位: 件)

		滋賀	京都	大阪	兵庫	奈良	和歌山	合計
事故発生件数	2010年度			2	1			3
	2011年度				1			1
	2012年度	1	1					2
	2013年度			4				4
	2014年度							0
	2015年度			3	2			5
	2016年度			1				1
	2017年度							0
	2018年度							0
	2019年度							0
合計	事故件数	1	1	10	4	0	0	16

(※3) 重複を除いた事故発生件数。

(2) 被害状況

表2に「府県別 被害状況」を示します。

表2 府県別 被害状況<sup>※4</sup> (単位：件)

		滋賀	京都	大阪	兵庫	奈良	和歌山	合計
人的被害	死亡							0 (0)
	重傷							0 (0)
	軽傷							0 (0)
物的被害	拡大被害							0 (0)
	製品破損	1	1	10	4			16 (0)
合計	事故件数	1	1	10	4	0	0	16
	被害者数	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)

(※4) 重複を除いた事故発生件数。( )は被害者数。

(3) 製品別 年度別 事故発生状況

表3に「製品別 年度別 府県別 事故発生状況」を示します。

表3 製品別 年度別 府県別 事故発生状況<sup>※5</sup> (単位：件)

製品名	事故発生年度	滋賀	京都	大阪	兵庫	奈良	和歌山	合計
ガス給湯器 ふろがま	2010年度			2				2
	2011年度				1			1
	2013年度			4				4
	2015年度			3	2			5
	2016年度			1				1
太陽熱温水器	2010年度				1			1
	2012年度	1	1					2
合計	事故件数	1	1	10	4	0	0	16

(※5) 重複を除いた事故発生件数。

## 1-2. 事故発生状況（一酸化炭素中毒の事故）

### (1) 年度別 事故発生状況

表 4 に「年度別 府県別 事故発生状況」を示します。

表 4 年度別 府県別 事故発生状況<sup>※6</sup>（単位：件）

		滋賀	京都	大阪	兵庫	奈良	和歌山	合 計
事故発生 件数	2010 年度	1						1
	2011 年度							0
	2012 年度	1				1		2
	2013 年度				1			1
	2014 年度							0
	2015 年度		1		1	1		3
	2016 年度			1	1			2
	2017 年度							0
	2018 年度			1				1
	2019 年度							0
合 計	事故件数	2	1	2	3	2	0	10

(※6) 重複を除いた事故発生件数。

(2) 被害状況

表 5 に「府県別 被害状況」を示します。

表 5 府県別 被害状況<sup>※7</sup> (単位：件)

		滋賀	京都	大阪	兵庫	奈良	和歌山	合計
人的被害	死亡			1 (2)		1 (1)		2 (3)
	重傷							0 (0)
	軽傷	1 (1)	1 (2)	1 (1)	3 (6)	1 (1)		7 (11)
被害なし		1						1 (0)
合計	事故件数	2	1	2	3	2	0	10
	被害者数	(1)	(2)	(3)	(6)	(2)	(0)	(14)

(※7) 重複を除いた事故発生件数。( ) は被害者数。

(3) 製品別 事故発生状況

表 6 に「製品別 府県別 事故発生状況」を示します。

表 6 製品別 府県別 事故発生状況<sup>※8</sup> (単位：件)

	滋賀	京都	大阪	兵庫	奈良	和歌山	合計
ガス給湯器・ふろがま	1	1	1	2	1		6
携帯発電機				1			1
石油暖房器具			1		1		2
調理器具	1						1
合計	2	1	2	3	2	0	10

(※8) 重複を除いた事故発生件数。

## 2. 事故事例の概要

### (1) ガスふろがまのカバーが変形

2016年1月（兵庫県、年齢・性別不明、製品破損）

#### 【事故の内容】

ガスふろがまのカバーが変形していた。

#### 【事故の原因】

寒波の影響で熱交換器の通水パイプが凍結し、メインバーナーの点火により通水パイプ内の圧力が部分的に上昇して、通水パイプの破裂及びカバーの変形が生じたものと考えられる。また、事故発生場所の集合住宅では同日に複数件の同一事象が発生していることから、寒波による異常低温環境にさらされたことで製品の低温作動弁が作動しなかったことも影響したものと考えられる。

### (2) 石油ストーブによる一酸化炭素中毒

2017年1月（大阪府、70歳代・男性、死亡）

#### 【事故の内容】

一酸化炭素中毒で2名が死亡し、現場に石油ストーブがあった。

#### 【事故の原因】

石油ストーブの燃焼筒の部品が破損し、上下逆さまの状態では燃焼筒の上部に置かれていたため燃焼時に不完全燃焼となり、高濃度の一酸化炭素が発生して事故に至ったものと考えられる。

## 3. 雪・凍結に伴う事故及び一酸化炭素中毒の事故の映像について

雪・凍結に伴う事故及び一酸化炭素中毒の事故の再現映像及び静止画をご希望の場合は、下記のお問い合わせ先までご連絡ください。

なお、映像等をご使用の際、クレジットは「製品評価技術基盤機構+niteロゴ」としてください。

#### （本件に関するお問い合わせ先）

〒559-0034 大阪府大阪市住之江区南港北1-22-16

独立行政法人製品評価技術基盤機構 製品安全センター

製品安全広報課 課長 柿原 敬子

担当者：製品安全広報課 小寺

電話：06-6612-2066 E-mail：ps@nite.go.jp FAX：06-6612-1617